

滝川市総合計画（2023 - 2032）概要

**基本構想** 目指すまちの将来像 **心が育ち 人を紡ぐ いつまでも住み続けたい“ ちょうどいい田舎 ”**

- 【基本的視点】 ○人口の流出を最大限抑える ○都市の利便性を維持する  
○まちのコンパクト化を図る ○人がつながり、次世代へつなぐ

**基本計画**

■基本目標1 安心して子どもを育み、学び、笑顔あふれるまち

妊娠から出産・子育てのライフステージで安心して子どもを育てられる環境や、市民一人ひとりが学ぶことができる環境が整っているとともに、スポーツ・文化芸術活動などを通じて、心豊かな生活を送ることで、笑顔になれるまちを目指します。



**施策**

- 子どもの成長と子育て支援体制の充実
- 学校教育の充実
- 生涯学習・文化芸術・スポーツ環境づくり

■基本目標2 健康で、優しく、安全に暮らせるまち

超高齢社会においても、誰もが心身ともに健康であり、地域での助け合いやコミュニティの充実・環境配慮の取組を行い、人にも環境にも優しく、災害に強く犯罪のない安全に暮らせるまちを目指します。



**施策**

- 保健・医療環境の充実
- 地域福祉・自立支援体制の充実
- 市民生活の安全確保
- コミュニティ活動の支援
- 環境への配慮

■基本目標3 元気で魅力ある産業と、人が集うまち

農業をはじめとする各産業が活発化し、まち全体が元気であるとともに、魅力ある地元企業などへの就職や観光資源の活用により、多くの人が集まるまちを目指します。



**施策**

- 農業の振興
- 力強い産業の創出
- 豊かな資源をいかした外客誘致・交流人口の拡大

■基本目標4 都市と農村が調和し、便利で、快適なまち

農村部の暮らしを守りながら、都市機能の集約や公共交通の維持、施設の再編等を進め、人口減少に対応したコンパクトで機能的なまちを目指します。



**施策**

- コンパクトな都市形成
- 地域公共交通の維持
- 公共施設・インフラの適正管理
- 住環境の整備

※詳細については、市公式ホームページでご確認いただけます。

問合先 企画課 Tel.28-8004

滝川市総合計画（2023 - 2032）を策定しました

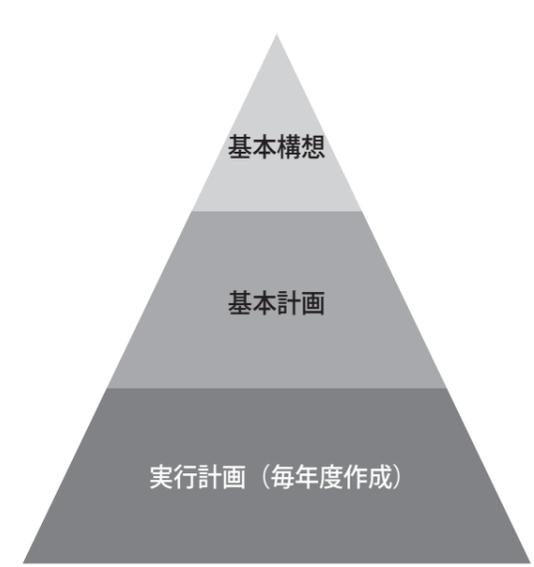
市では、令和5年4月からスタートする滝川市総合計画の策定に向け、滝川市総合計画策定市民会議、市議会の滝川市総合計画調査等特別委員会、市職員による総合計画策定本部での審議、パブリックコメントでの意見募集などを行ってきましたが、3月に計画ができあがりましたので、主な内容についてお知らせします。



総合計画とは

総合的・計画的に長期にわたるまちづくりの方向性を示す、行政運営を行ううえで基本となるもので、将来の都市像の実現に向けて、取り組む施策などをまとめたものです。滝川市の総合計画は、市の将来像を示す「基本構想」、基本構想を実現するために必要な施策を掲げる「基本計画」、その施策を実現するために取り組むべき事業を定める「実行計画」で構成しています。

総合計画の構成と計画期間



	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
基本構想	[Shaded bar]									
基本計画	[Shaded bar]									
実行計画	[Shaded bar]									
個別計画	[Shaded bar]									

目指すまちの将来像

滝川市においても人口減少と少子高齢化は避けては通れない道ですが、持続可能なまちづくりのためには、未来を担う子どもたちを育み、地域に愛着と誇りを持ちながら健康で心豊かに暮らしていけることが大切です。加えて、滝川市は豊かな自然に囲まれ、安定的な農畜産物の生産や豊富な地域資源があります。そうした魅力が市内外に発信され、多くの人が滝川を訪れ、にぎわいが創出されることや都市機能と自然環境が調和したコンパクトで機能的なまちにしていくことが、「ちょうどいい田舎 滝川」を守っていくために必要なことです。

これまでも市民一人ひとりが滝川を愛し、地域や団体、行政が力を合わせて築いてきた歴史があります。これからも、地域を愛する心を育み、人と人、世代と世代がつながり、市民の総合力によりまちの魅力さをさらに高め、いつまでも住み続けたいと思えるまちを目指し、将来像「心が育ち 人を紡ぐ いつまでも住み続けたい“ ちょうどいい田舎 ”」を掲げました。